



夕立ち前の池の里／三井恵美子・画



伊東西

会長 飯島崇宏 副会長 増田真啓
幹事 小川嘉洋

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定 該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	48	46	40	6		86.95%

SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 R.I. 会長 シェカール・メータ
第2620地区ガバナー 小林 聡一郎

2021.10.15 第2031回例会 No.2031

会長挨拶

皆様、こんにちは、最初にお知らせしなければならぬことがあります。台北大安ロータリークラブより連絡があり、バスト会長のダイヤモンドさんが、10月6日に88歳でお亡くなりになられたと通知がありました。台湾に訪問したときには、たいへん温かく迎えていただきました。大安クラブのチャーターナイトでのフレンドリーなお姿が目につかびます。心より哀悼の意をささげたいと思います。それから、10月10日の日曜日に米山奨学生世話クラブカウンセラー研修会がオンライン上で開催され、地区委員会出向の稲葉会長エレクトとカウンセラーのシャムさん、そして、奨学生の孫君と参加致しました。私の感想ですが、日本のロータリークラブもなかなか奥の深い大規模な事業を行っているなあと感じました。主に、アジアから日本に勉強に来ている優秀な留学生を支援して、将来は日本と出身国との懸け橋になってもらおうというねらいがあります。つまり、将来は、国際社会で活躍し、日本と世界を結ぶ平和と友情の懸け橋になり得ると期待しています。確かに国際貢献している事業だと思いました。最後にスポーツの話をしします。水泳において、上級者と初心者の



違いは、一言で言えば、水に浮いているか沈んでいるかの違いです。上級者は、無駄な力を抜いてリラックスしているので水に浮いて、初心者は、緊張して筋肉に力がいり硬くなって沈むということです。呼吸のときからだを持ち上げてその反動で沈むという上下動を繰り返すと水の抵抗が大きく進みません。人生も無駄な力を抜いて、リラックスして行きたいものです。

本日の欠席者

藤井時美君 小川久君 増田真啓君 村上恵宏君
大胡充利君 土屋順史君

ゲスト

杉本真正徳様 NPO 法人伊豆の国理事長

幹事報告

- (国際ロータリー理事 辰野氏より) 10/22日本経済新聞の朝刊全国版にロータリーの一面広告が掲載される(との連絡がありました。)
- 10/24が世界ポリオデーです。22日例会時、募金箱を設置します。ポリオ募金の協力を!

スマイルボックス

佐藤 活也君 妻の誕生日に観葉植物を送っていただきありがとうございました。

梶原 幹人君 遅くなって申し訳ありません。ようやく旅行写真公開システムができました。会員専用ページにアップしてあります。斉藤広報委員長(当時)の写真ありがとうございます

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ました。

田邊 喜義君 誕生日祝に横浜中華街にて原、石井さんにごちそうになる。

立木 泰君・北岡貴人君

NPO 法人「伊豆の風」よろしく
お願い致します。社会奉仕フォー
ラム。

飯島 崇宏君 シyamさん、米山奨学生カウンセ
ラー研修会に参加、ご苦勞様でし
た。シyamさんと孫君の1分間の
スピーチとても良かったです。

石井幸弘君・原幸男君

土屋順ちゃんの子会社のルーツが伊
豆新聞に載ってました。三代目社
長として、仕事にゴルフに頑張っ
て下さい。

市川正樹君・北村勲君・稲葉憲一君・稲葉衛君・
伊東西クラブの友好クラブである
台北大安クラブの会員であったダ
iamondさんが10月5日、ご逝去
されました。ご冥福をお祈り申
し上げます。

社会奉仕フォーラム

NPO 法人へ補助金贈呈



NPO 法人「伊豆の国」活動紹介

名称 特定非営利活動法人 伊豆の風
(略称：NPO 伊豆の風)

「この法人の目的は……」

杉本真正徳 様

NPO 法人伊豆の国理事長

21世紀の伊豆を、温暖な気候と海山の自然や温泉など豊富な天然資源と農林水産物を活用した健康増進、予防医学を中心に、健康保養を自然農法・自然食などの普及活動を通し「健康保養地」創出に寄与する事を目的に、「特定非営利活動法人伊豆の風」として、平成16年4月1日発足。

「取り組みの願い……」土と人の未来のために健康を妨げている生活習慣を「衣食同源」「身土不二」の精神を基本に、自然農法の理念・原理に学び、「健康な土・健康な野菜・健康な人・健康

な都市」の4つの健康づくりの実践を通して、自然に則した生活習慣改善を提言、普及活動に取り組む。

『健康』をキーワードに活動……」

1. MOA自然農法栽培による「健康な土」と「健康な野菜」づくり
2. 「岡田式健康法」で自然に則した生活習慣の「健康な人」づくり
3. 「健幸な人・家庭」が社会奉仕活動を育む「健康な都市」づくり

「各部会の主な活動」

1. 健康法部会
2. 自然農法・自然食部会
3. 美術・文化部会

今後に向けて

「いとう瑞泉郷」の取り組みを通して「心身共に健康なまちづくり」の拡大！

自然農法を軸に、特に自然農法による家庭菜園の学びに気軽に参加する中で、多くの市民が「自然の仕組みや自らの体の仕組み」などに改めて気づき、「土の健康」から「作物の健康」、それが「人の健康」へとつながり、「健康なまちづくり」になっていく学びを通して、今迄の生活習慣から自然に則したライフスタイルに転換されることを願っています。新型コロナウイルス感染症対策として「新しい生活様式」が提唱されていますが、これに自然農法・自然食が加味されることで「自らの健康は、自らが守り、育む」という、健康社会に向かう「新しい生活様式」が成り立つといえます。まずは「いとう瑞泉郷」の営みが伊東八景の風光明媚な場所の近隣で行われ、市民はもちろんのこと、観光客にも楽しんでいただけるような場づくりに努力していきます。いずれは伊豆半島内で自然農法による地産地消の農産物の生産拡大を図るネットワークづくりを推進し、里山・里海の安心、安全な地産（ジオ）野菜と地魚による自然食を風光明媚な景勝地で提供することで、市民を始め、国の内外の観光客の皆様をおもてなしできる、名実共に「健康保養地」と謳われる伊豆半島の誕生を願っています。



(担当 稲葉憲一)

プログラム予定

10月29日(金)	休会 (R I 定款による)	11月5日(金)	休会 (文化の日)
11月12日(金)	R 財団、米山フォーラム		
11月19日(金)	通常例会 卓話 大胡充利君		